

かも博美後援会 会報誌 わかば
裾野市議会議員
かも ひろみ
賀茂 博美

No. 37
2020.4



裾野市伊豆島田 230-4
TEL・FAX: 993-1876

《 ご挨拶 》 ご要望、ご相談、ご意見等ありましたら、お気軽にお声掛けください！

新型コロナウイルス感染症が世界中で広がり、先行き不透明で不安な日々が続きますね。
東京 2020 オリ・パラも延期となり、1日も早い終息に一人一人の行動が大切になっています。
裾野市の感染拡大防止に対する対応は、「感染症対策本部」の立ち上げ、市内小中学校の臨時休校、公共施設の一部利用中止、各種イベント等の中止・延期の措置が取られ、備蓄しているマスク等を必要とされる医療機関、高齢者施設等への配布も行われています。
また、議会では議会出席者へのマスクの着用、議会傍聴ご遠慮のお願い等の措置が行われました。さらに議会から市長へ、市民の不安解消に努めるよう“情報提供の継続、感染予防に向けた対策強化、相談窓口の設置等”を要望致しました。

見えないウィルスへの不安、経済停滞による生活への不安、世界経済の低迷への不安等々ありますが、私達にできることは、自分の体調をしっかりと管理し、手洗いや咳エチケットに心掛け、感染拡大予防に努めることです。

皆さん一丸となって、この苦難を乗り越えていきましょう！



議 会 報 告 会 の 延 期

毎年4月に議会報告会を開催してきましたが、感染症拡大予防を考慮し、事態が終息した際に改めて開催いたします。皆様からのご質問、ご意見、ご要望等にはいつでも対応いたします。お気軽にご連絡ください。

令和2年度 予算総額 **327億5012万円**(前年比0.3%増)

一般会計 **211億6000万円**(前年度0.9%減)

主な新規事業

保育園入園選考 AI 化事業

膨大な時間を要する保育園入園選考をAIでの実証実験を行う(50万円)

安全運転支援装置促進事業

高齢ドライバーの踏み間違い事故防止として、後付け安全装置の設置補助(120万円)

給食センター調理委託事業

給食員の確保、安全な給食を提供するよう調理業務を民間に委託する(4000万円)

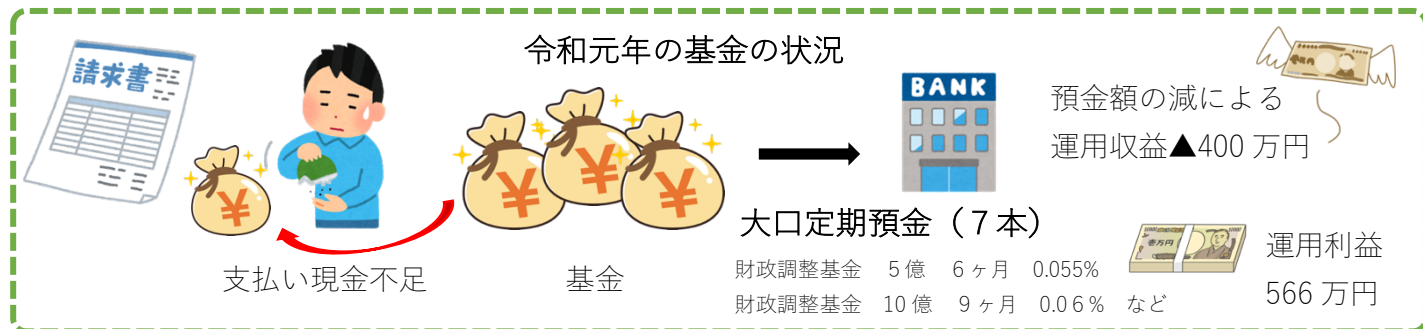
陸上競技場改修事業

運動公園内の競技場の機能を維持するための改修工事、設備の更新(1719万円)

令和2年 3月定例会 一般質問の概要

基金の有効活用について

裾野市では18本の基金を積み立てています。基金の総合計は約78億円（H31.3月末）。市では、工事費や様々な支払いが生じた際、手元に現金がない時は、基金から一時的に現金を借りて支払いを行います。その額、令和元年度は約33億円！ 本来は貯金できた場合の利息約400万円が減収しました。資金調達と資金運用について質問・提案しました。



資金調達の方法として、支払い現金を短期借入した場合との比較、有価証券による現先取引、当座借超枠の設定などの提案をしました。様々な手法を検討していくとのこと。



現在の資金運用は、短期間、基金ごとの運用です。基金の一括運用、長期預入等について提案しました。今後、社会情勢やリスク管理をし、有効な手段として取り組んでいきたいとのこと。

市営墓地事業の今後の経営について

市営墓地は市民からの要望により整備され、現在、墓地（第1号～第3号墓域）は全て完売していますが、新たな整備計画はありません。現在は販売収入がないため、整備に借入れた資金を返金する手立てがない状況です。造成の済んでいる第4、5号墓域の区画整備を行い、販売できるよう整備する必要性を提案しました。



市営墓地総事業費 8億7095万円（R2.3末）

支出

- 初期事業費（用地取得・道路整備・墓地整備等）6億968万円



収入

- 第1号～第3号墓域販売収入（923区画）4億1465万円
- 一般会計繰入金 1億2200万円



現在

7400万円の資金不足

【提案】造成済みの第4号、第5号を整備した場合・・・

- 第4号墓域整備費 4,600万円

2000万円の資金不足

- 第4号墓域販売収入（252区画）1億1800万円

- 第5号墓域整備費 4,600万円

5200万円の余剰金

- 第5号墓域販売収入（213区画）1億円

その他、

GIGA スクール構想実現に向けた取り組みについての質問を行いました。

トヨタ実証実験都市“ウーブン・シティ”

トヨタ自動車（株）の豊田章男社長は、2020年1月7日アメリカ・ラスベガスで開催されたCESにて、「ウーブン・シティ（Woven City）」と呼ばれる実証実験都市をトヨタ自動車東日本（株）東富士工場の跡地につくることを発表しました。このプロジェクトは、ロボット・自動運転・人工知能（AI）などの先端技術をリアルな生活環境の中に導入・検証できるまちを作り上げることで、トヨタでは、企業や研究者と連携し、ヒトやサービスを情報で繋ぎ、新たな価値やビジネスモデルを見出すとしています。さらに、このスマートシティを推進するため、トヨタとNTTの資本提携のニュースも飛び込んできました。敷地は約70.8万m²（東京ドーム約15個分）、プロジェクトの初期段階では従業員や関係者など2000名程度の人々が実際に暮らすとのこと。 

2020年1月7日 CESにて豊田社長が発表（QRコード：イメージ動画）



裾野市次世代型近未来都市構想

『スソノ・デジタル・クリエイティブ・シティ(S D C C)構想』

豊かな自然と調和する
次世代型近未来都市



Susono Digital Creative City

裾野市は、最先端技術を市全域の街づくりに波及させる市独自の「次世代型近未来都市構想」を策定しました。計画は概ね15年間。2020年度には、産官学による推進組織を発足させ、具体的な取り組みを盛り込んだ計画を検討し、参画者の知見や技術、アイデアを生かして革新的なサービスや製品の開発に繋げるとしています。

【 取り組みの方向性 】

① ウーブン・シティ周辺等の整備及び地域との融合

(例) 岩波駅周辺の利便性向上、深良駅周辺エリア等の活用等

② 高付加価値の産業育成・雇用の確保

(例) 新たな事業用地の整備、新産業クラスターの検討等

③ 誰もが移動しやすい交通環境の整備

(例) 自動運転システムの構築・カーシェア・ライドシェアの取り組み等

④ 災害に強い地域循環共生圏の形成

(例) 再生可能エネルギー等の利用促進による脱炭素化の実現等

⑤ グローバル人材の育成とICT環境の整備

(例) オンライン教育等の活用によるグローバル人材の育成等

⑥ 超高齢社会に対応した健康・医療の推進

(例) ICTの活用による在宅医療。在宅介護等

⑦ 持続可能で稼げる農林業の推進

(例) 無人トラクターやドローン等の活用による生産の効率化等

⑧ 富士山麓の「場の力」を活かしたツーリズムの推進

(例) ホテルや道の駅、農家レストラン等の建設に向けた土地利用調整等

⑨ スマート自治体の推進

(例) 行政手続きを紙から電子へ転換等



第6回サクラサクマツリ 中止

桜堤の桜の蕾も膨らんでいましたが、4月12日に予定していた第6回サクラサクマツリは中止となりました。地域の方々にはいつもご協力いただき改めてお礼申し上げます。来年には満開の桜の中で開催できることを願っております。

編集後記

トヨタ自動車(株) 豊田章男社長の発表は、裾野市にとって夢膨らむビックニュースとなりました。しかし、企業にとっては、自動車産業の今後を見据えた大きな投資でもあります。裾野市もこのチャンスを手放して喜ぶだけでなく、足元をしっかりと見て、まちの未来を見据えたまちづくりの基礎をさらに固めていく必要があります。議会もこれまで以上に責任ある決断をしていく必要があると感じています。今後も皆様方のご意見を聞かせて頂きますようお願い致します。

裾野市議会議員 賀茂 博美